

**製品名: リン酸化 Raf1 (Ser259) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02515**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.21mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAF1
別名	RAF1; RAF; RAF proto-oncogene serine/threonine-protein kinase; Proto-oncogene c-RAF; cRaf; Raf-1
遺伝子 ID	5894
SwissProt ID	P04049
免疫原	ヒト Raf1 の Ser259 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

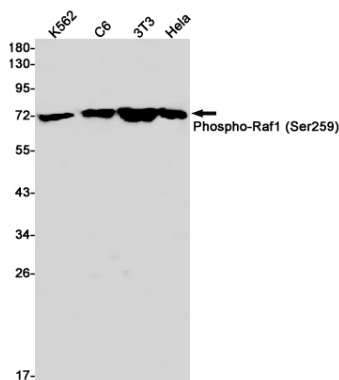
**背景**

Raf-1 は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、Ras ファミリーに直接結合します。活性化された Raf-1 はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。

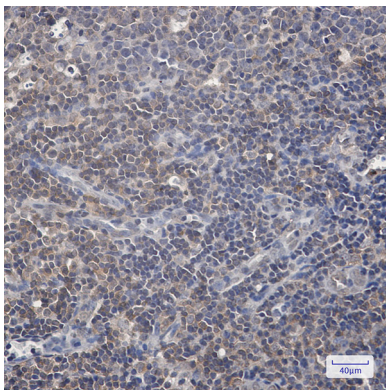
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-Raf1 (Ser259) 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Phospho-Raf1 (Ser259) のウエスタン ブロット分析。



Raf1 (Phospho-Ser259) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。